

Yahoo! JAPAN Ads API Webinar

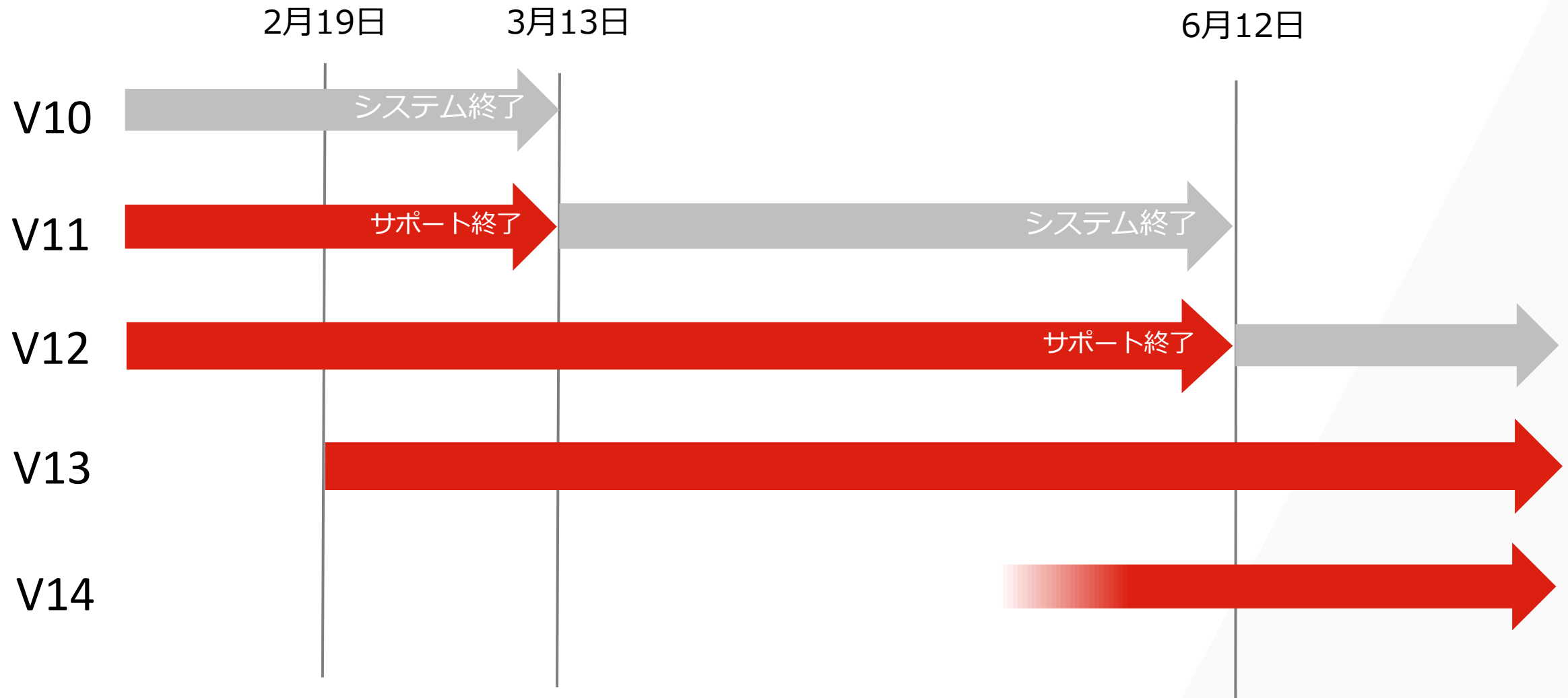
March, 2024

Agenda

- 01** ロードマップ
- 02** V13アップデート情報
- 03** 各種情報共有
- 04** 前回のアンケートへの回答
- 05** 質疑応答

1. ロードマップ

Yahoo!広告 APIシステム終了、サポート終了スケジュール



システム終了、サポート終了の予定は下記でも確認可能です。

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/developers-guide/release-note.html>

※Yahoo!広告 API：以降、APIと表記

2. v13アップデート情報

Yahoo!広告 検索広告

広告表示オプションなどの名称変更

広告表示オプションの名称が広告表示アセットに変更になります。

リリース予定日： 2024年3月6日（水）

対象バージョン：全バージョン

参考： [【検索広告】 広告表示オプションから広告表示アセットへの名称変更について](#)

対象項目： https://s.yimg.jp/images/ads-promo_edit/support/pdf/202402_Ad_display_asset_JP.pdf

影響のおさらい：

ReportDefinitionService、AuditLogService、CampaignExportServiceの各ダウンロードファイルの名称が変更になっています。

広告表示オプションなどの名称変更

変更箇所の見方

- お知らせ掲載のPDF

英語	
従来の項目名	新しい項目名
Ad display options	Ad display asset
QuickLinks	Quick link asset
Callout	Callout asset
Category text	Category snippet asset
Call extensions	Call asset
Ad display option ID	Ad display asset ID

[ポイント]
 リクエスト/レスポンスのフィールド名：変わらない
 レポート上の表示名称：変わる
 レポート上の表示値：変わる
 (XML形式での出力の場合) XML属性：変わらない

- リファレンス記載のCSV

フィールド名	日本語表示名称/Japanese display name	英語表示名称/English display name	XML属性/XML Attribute	日本語表示値/Japanese display values	英語表示値/English display values
EDITORIAL_STATUS	審査状況	Editorial Status	editorialStatus	審査完了,編集内容審査中,審査中,掲載不可,掲載停止,その他	APPROVED,APPROVED_WITH_REVIEW,REVIEW,PRE_DISPLAY
ASSET_ID	広告表示オプションID	Ad display option ID	assetID		
ASSET_ENTITY	広告表示オプションの種類	Ad display option type	adDisplayOptionType	クイックリンクオプション,テキスト補足オプション,カテゴリ	QuickLinks,Callout,Category text,Call extensions,Other
ASSET_START_DATE	開始日	Start Date	adDisplayOptionStartDate		
ASSET_END_DATE	終了日	End Date	adDisplayOptionEndDate		
TRACKING_URL	トラッキングURL	Tracking URL	trackingURL		
CUSTOM_PARAMETERS	カスタムパラメータ	Custom parameter	customParameters		
FINAL_URL	最終リンク先URL	Final URL	finalURL		
FINAL_URL_SMARTPHONE	スマートフォン向けURL	Smartphone final URL	finalURLSmartphone		
ASSET_CALLOUT_TEXT	補足用テキスト	Callout text	callout		
ASSET_PHONE_NUMBER	電話番号	Phone Number	phoneNumber		

画像アセット

広告表示アセットの機能の一部として、画像アセットを追加します。

v13リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース予定日：2024年4月頃

<画像仕様>

アスペクト比1:1（サイズ 300ピクセルx300ピクセル以上）

アスペクト比1.91:1（サイズ 600ピクセルx314ピクセル以上）

ご参考：【検索広告】画像アセットの提供開始について

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/240215.html>

画像アセット

画像のアップロードは、AssetService の機能として提供します。

Add時の operand に画像データをBase64でエンコードすることで画像を追加できます。

※operandは複数指定の形式になっていますが、
画像は1件ずつのアップロードとなる点にご注意ください。

AssetService/add のリクエスト例

```
{
  "accountId": 123456,
  "operand": [
    {
      "assetData": {
        "type": "IMAGE",
        "imageAsset": {
          "imageName": "IMAGE_NAME",
          "data": "<Base64エンコード済みデータ>",
        }
      }
    },
  ]
}
```

ご参考：【検索広告】画像アセットの提供開始について

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/240215.html>

アセット組み合わせレポート

レスポンス検索広告のタイトル・説明文・広告表示アセットの組み合わせ毎のレポートが出力できるようになります。

v13リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース予定日：2024年3月6日（水）

レポートタイプ：ASSET_COMBINATIONS

取得可能期間：過去1年間 ※1年以上前を指定してもエラーにはなりません

Segmentの指定：不可 ※動作区分の考え方：<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/developers-guide/about-report.html>

タイトル1	タイトル2	タイトル3	説明1	説明2	...	インプレッション
aaa	bbb	ccc	111	222	...	100
aaa	bbb	ccc	111	333	...	200
aaa	ccc	bbb	111	222	...	150

アセット組み合わせレポート

[出力における注意点]

Fieldsの項目を絞っても、数値の合算は行われないためご注意ください

例 1) 項目：配信タイトル1、配信タイトル2、配信タイトル3、配信説明文1、配信説明文2

タイトル1	タイトル2	タイトル3	説明1	説明2	...	インプレッション
aaa	bbb	ccc	111	222	...	100
aaa	bbb	ccc	111	333	...	200
aaa	ccc	bbb	111	222	...	150

例2) 項目：配信タイトル1、配信説明文1

タイトル1	説明1	...	インプレッション
aaa	111	...	100
aaa	111	...	200
aaa	111	...	150

数値の合算は行われず、
重複行があるかのように見える

Yahoo!広告 ディスプレイ広告

スマートターゲティングについて

運用者が設定したターゲティング範囲外のコンバージョン見込みユーザーにも広告配信することが可能になる「スマートターゲティング」機能を提供します。

v13リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース日：2024年2月28日（水）

※デフォルトの設定値は「FALSE」ですので、ご利用になる場合のみ「TRUE」を指定してください。

```
{
  "accountId": 123456,
  "operand": [
    {
      "accountId": 123456,
      "campaignId": 111111,
      "adGroupId": 22222222,
      "smartTargetingEnabled": "TRUE",
      "userStatus": "ACTIVE",
      ～後略～
    }
  ]
}
```

ご参考：【ディスプレイ広告（運用型）】スマートターゲティング正式提供のお知らせ
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/240214.html>

AD_TYPE_PREVフィールドの削除について

ReportDefinitionServiceからAD_TYPE_PREV（広告タイプ（旧））フィールドが削除されます。

既に提供を終了している項目のため、影響はないかと存じますが、まだ該当項目を利用している場合は、新広告タイプ（AD_TYPE、MAIN_MEDIA_FORMAT）をご利用ください。

※広告タイプはv10にて広告タイプとメインメディアの形式になりました。

ご参考：【ディスプレイ広告】広告タイプの名称変更と項目追加について

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/23020202.html>

レポートのダウンロードファイルの仕様変更について

V12以前は数値以外の項目は、原則ダブルクォーテーション (") で囲んでいましたが、
V13では数値以外の項目かつ、項目の値にカンマ (,) またはダブルクォーテーション (") が含まれる場合のみダブルクォーテーション (") で囲むようになりました。

(検索広告と同様の動き)

～v12

"広告名", "キャンペーン名","広告グループ名","インプレッション数","クリック数","クリック率","コスト"
"test","キャンペーン""A """, "広告グループ1",29746,11,0.0370,50

v13～

広告名, キャンペーン名,広告グループ名,インプレッション数,クリック数,クリック率,コスト
test, "キャンペーン""A""", 広告グループ1,29746,11,0.0370,50

ご参考：【ディスプレイ広告】パフォーマンスレポートにおけるダウンロードファイルの一部仕様変更について
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/240123.html>

コンバージョンAPIのyclidの取得方法追加について

コンバージョンAPIのyclidの取得元にURLパラメータが追加になりました。

	ディスプレイ広告の OfflineConversionService	検索広告の OfflineConversionService	ディスプレイ広告の コンバージョンAPI
基盤	Yahoo!広告 API	Yahoo!広告 API	Yahoo!ディベロッパーネットワーク
取り込み可能な項目	yclid	yclid	yclid、電話番号、メールアドレス
取り込み可能な CV設定	「インポート」のみ	「インポート」のみ	全て（ウェブページ、アプリ、 電話発信、インポート）
yclidの取得元	Cookie、 URLパラメータ	URLパラメータ	Cookie、 URLパラメータ
1リクエストで 扱えるCVの数	複数 （ファイルアップロード）	複数 （ファイルアップロード）	1
登録済データの ダウンロード	不可 （downloadメソッド無）	可能 （downloadメソッド有）	-
リファレンス	https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v13/OfflineConversionService/	https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-display-api/v13/OfflineConversionService/	https://github.com/yahoojp-marketing/ads-data-management-api-documents

追加に！

追加に！

3. 各種情報共有

アカウント系のQPSについて

アカウント系のQPS変更を従来認めていませんでしたが、v12よりベースアカウントの概念が加わったことにより、アカウント系のリクエスト数が増加し、5QPSでは不足するというお問い合わせを複数頂きました。

下記の通り、QPSの変更を受付する方針に変更しております。

指定可能QPS : 5QPS (デフォルト)、**10QPS** (申請により変更可能)

申請方法は下記フォームより

https://form-business.yahoo.co.jp/claris/enqueteForm?inquiry_type=yads-api-support-qps-ja

ご参考 : リクエストの制約 (QPS)

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/developers-guide/qps.html>

エラーコードの追加について

ヤフー側のDB負荷が高い場合に、単純にHTTPコードの500 (internal server error) を返却していましたが、エラーコードを追加いたしました。
これにより、エラー原因を特定しやすくなりました。

■ サーバーのResource busyに対するエラーコード
130000 (The server is busy. Please retry later.)

■ DBのLockでタイムアウトが発生したときのエラーコード
130001 (The request was not completed. Please reduce concurrent requests or data size.)

4. 前回のアンケートへの回答

前回いただいたご要望への回答



トラッキングURLを編集するとレポート取得時に同じ広告IDでも分割した行となる点はお客様からお困りの声をいただきます。改善されることを希望します。



大変恐縮なのですが、内部的なデータ構造の関係でご要望にお応えするのが難しい状況です。



先日YSAでレポートのフィールド名の変更がされましたが、APIのバージョンアップで変わるならまだ分かるが、同じAPIバージョンのサービス途中で変わるのは止めていただきたいです。



ご意見ごもっともと存じます。内部的な仕組みの関係ですぐに対応することとは難しいですが、ディスプレイ広告では実現できているので、検索広告での対応も検討いたします。

前回いただいたご要望への回答



質疑応答の内容も展開してほしいです。



一部の情報はリアルタイムでのみのご提供となるものもございますが、今後は[DeveloperCenterのリリースノート](#)の「バージョンアップ情報」で展開してまいります。



LINEヤフー